

来週の「売り物」記事はこれ



2012年3月23日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

こうのとりに追って「出生前診断」①～⑥

くらしナビA面 27日(火)～

出産前の赤ちゃんに異常がないか調べる「出生前診断」は幸せな妊婦生活を一変させる可能性があります。診断技術が進み、従来はなかった問題も浮上しています。診断結果をどう受け止め、生かすべきでしょうか。診断結果に悩んだ女性や医師ら取材しました。



「東京大空襲」反響特集

くらしナビA面 26日(月)



今月8、9日に掲載した企画「母と子の戦場 3・10東京大空襲」には読者から多数の感想や体験談が寄せられました。空襲体験をこれまで話したことがなかったお年寄りの女性が「もう伝える機会がなくなる」と書き送ってくれた手記など貴重な声を紹介します。

プロ野球が開幕 — ペナントの行方は

27日掲載

高校野球のセンバツ大会を皮切りに、国内は本格的な野球シーズンに入りました。プロ野球は30日午後6時、セ・パ両リーグが同時に開幕します。今季のパ・リーグは、昨年日本一のソフトバンクが、杉内、和田、ホールトン、川崎らの抜けた穴をどう埋めるかが焦点になりそう。開幕投手に指名された斎藤（日本ハム）の成長ぶりなども注目されます。セ・リーグは、今季も得意の大型補強で大物を集めた巨人がその効果を生かせるか。新監督を迎えた中日、阪神が強いとの見方もあります。また新生DeNAの中畑監督の指揮ぶりも話題になりそうです。毎日新聞では、今季もスポーツ面で試合の様態を生き生きと伝えていきます。また、担当記者が今季の順位を大胆予想する恒例の「記者の目」は27日に掲載する予定です。



連載「米保守革命」

第3部「最高裁 VS オバマ政権」

28日から連載



資料：Duncan Lock

今年11月の米大統領選を控え、米社会で進む保守化を映し出す「鏡」として、保守派のジョン・ロバーツ長官率いる連邦最高裁判所＝写真＝の動きが注目されています。オバマ米政権が推進する医療保険改革や、大学入学にあたっての少数派の優遇措置などについて、最高裁が近く合憲・違憲の判断を下す予定になっているためです。オバマ政権は、対抗候補選びを進めている野党の共和党だけでなく、「米国史上、最も保守的」と言われる現在の最高裁とも対決せざるを得ない立場に追い込まれています。28日付け朝刊から国際面で連載「米保守革命」の第3部「最高裁 VS オバマ政権」を掲載し、大統領選への影響を探ります。

2度の脳梗塞 復帰目指し

西城秀樹の「リハビリ」宣言

夕刊特集ワイド面 26日(月)

絶望から人はどう立ち上がろうとするのでしょうか。昨年暮れ、2度目の脳梗塞に倒れた歌手、西城秀樹さん(56)。いま、なお復帰を目指してリハビリ中だと聞き、ヒデキを訪ねました。「たまに真っ暗な部屋にたった独りで射るような感覚になるんです。七転八倒の日々なんです」と苦闘の日々を明かします。そして、いつの日にか、再びステージに立つことを信じています。歌はもちろん、♪ヤングマン、さあ立ち上がれよ…。



“知りたいが分かる”がモットーの毎日新聞夕刊「特集ワイド」。どうぞご期待下さい。